

荒川における自然再生に向けた取り組み

三ツ又沼ビオトープ (約 48km 地点) (平成 13 年)

NGO、地元市民団体とともに平成 7 年度から調査を開始し、平成 9 年度より新たに池を造るなどの整備を行い、平成 12 年度に三ツ又沼ビオトープとして完成。現在は、NGO や地元市民団体によって保全管理されている。



行政・地域住民が協働で保全管理を実施 自然観察会の様子

荒川ビオトープ (約 57km 地点) (平成 10 年)

計画段階から流域の市民、NGO の意見を聞き、平成 6 年より、生態系最上位のサシバが生息できる広範囲な自然環境づくりを目指し、水路や池を新たに造成。

越辺川ビオトープ (平成 6 年)

平成 6 年より、低水路等を河川整備にあわせビオトープ化。整備及び管理にあたっては、流域の市民および NGO の意見を聞きながら実施

地域の環境 NGO の方々との打合せ



太郎右衛門地区

平成 12 年度より、ビオトープネットワークの検討に着手。平成 15 年 7 月に関係行政機関、地域住民、NPO 等からなる自然再生協議会を設立し、現況の湿地環境の保全、旧流路を活かした蛇行河川の復元等について検討。

